

締め処理自動化でコスト削減！ Passworkで経理業務の効率化を実現

目次

01	資料概要	_____	p.03
02	締め処理の課題	_____	p.06
03	Passworkでの解決方法	_____	p.11
04	Passworkの特徴	_____	p.15

01 資料概要

締め処理の問題



バラバラになってしまった
システムのデータを元にした
経理締め処理がとても大変…



Passworkなら**解決**できます！



このガイドでは、freee会計といった会計システム、Salesforceといった営業管理システム、そしてKintoneなど複数のシステムからデータを収集し、月次締め処理を行っている企業が抱える「手作業による非効率」を解消し、締め処理の自動化と効率化を実現する方法を解説します。



02 締め処理の課題

分断されたデータが生む盲点



「データの分断」が、月次締め処理における膨大な手作業と人的ミスリスクを生み出す大きな障壁



弊社の調査によれば、月次締め処理において担当者の作業時間の60%以上がデータの抽出・統合作業に費やされているという結果



多くの企業が「手作業でなんとかこなしている」という思い込みから脱却できず、実際には非効率な業務フローが継続していることが珍しくありません。

Passwork導入前の締め処理の運用 01

第1営業日 前月末データの初期抽出



freee会計からの取引データ抽出

山田太郎と鈴木花子が、freee会計から前月分の全取引データをCSV形式でエクスポート。



Salesforceの受注データ

営業担当の田中次郎が、Salesforceから受注情報をExcel出力し、社内共有フォルダに保存。

第2営業日 補助データの収集と初期統合



Kintoneから顧客データの取得

マーケティング担当 井上健一が、Kintoneに登録されている顧客管理情報をエクスポート。



CSVファイル・Google Sheetsの確認

佐藤一郎が、Google DriveおよびAmazon S3上のCSVファイル、またはGoogle Sheetsに入力された手動データ（例：現金出納や小口現金の補助情報）を収集。



初期統合

高橋花子が、Excelファイルにこれら各種データを一旦統合し、各システムごとのデータ件数や合計金額を簡易集計。



Passwork導入前の締め処理の運用 02

第3営業日 各種データウェアハウス・DBからの集約と整合性チェック



データウェアハウスからの抽出

佐藤一郎が、Snowflake、BigQuery、Postgres、MySQL、SQL Server、Databricks、Amazon Redshiftから、前月の売上や経費、在庫データなどを抽出し、各データをExcelまたはGoogle Sheetsに集約。



マーケティングデータの確認

井上健一が、Account Engagementからメールキャンペーンの反応データを抽出し、SalesforceやHubSpotの数値との突合を実施。



整合性チェック

高橋花子と山田太郎が、各システム間の数値や件数の不一致がないか、手動でクロスチェックを実施。

第4営業日 統合データの最終調整と修正仕訳の作成



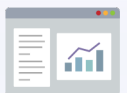
統合データの調整

前日までに収集・集約した全データを基に、Excel上で各システム間のズレや補正項目を洗い出し、調整作業を実施。



修正仕訳の作成

山田太郎が、調整内容に応じた修正仕訳をExcelで手動作成。各会計システム（freee会計、マネーフォワードクラウド会計）へ反映するためのデータフォーマットに整形。



BIダッシュボード確認

斎藤一樹が、Tableau CloudとBoardに反映されるレポートの初稿を確認し、数値の不整合がないか検証。

Passwork導入前の締め処理の運用 03

第5営業日 最終承認と報告書の作成・配布



最終レビュー

山田太郎が、各部署（経理、IT、営業、マーケティング）の提出した統合データを最終チェック。必要に応じて各担当者と電話会議や面談で調整。



報告書の作成

斎藤一樹が、Boardで作成した管理レポートおよびTableau Cloudのダッシュボードを基に、月次決算報告書を作成。



承認・配布

最終承認後、報告書を社内イントラネットやメール配信システムを用いて全経営陣へ配布。

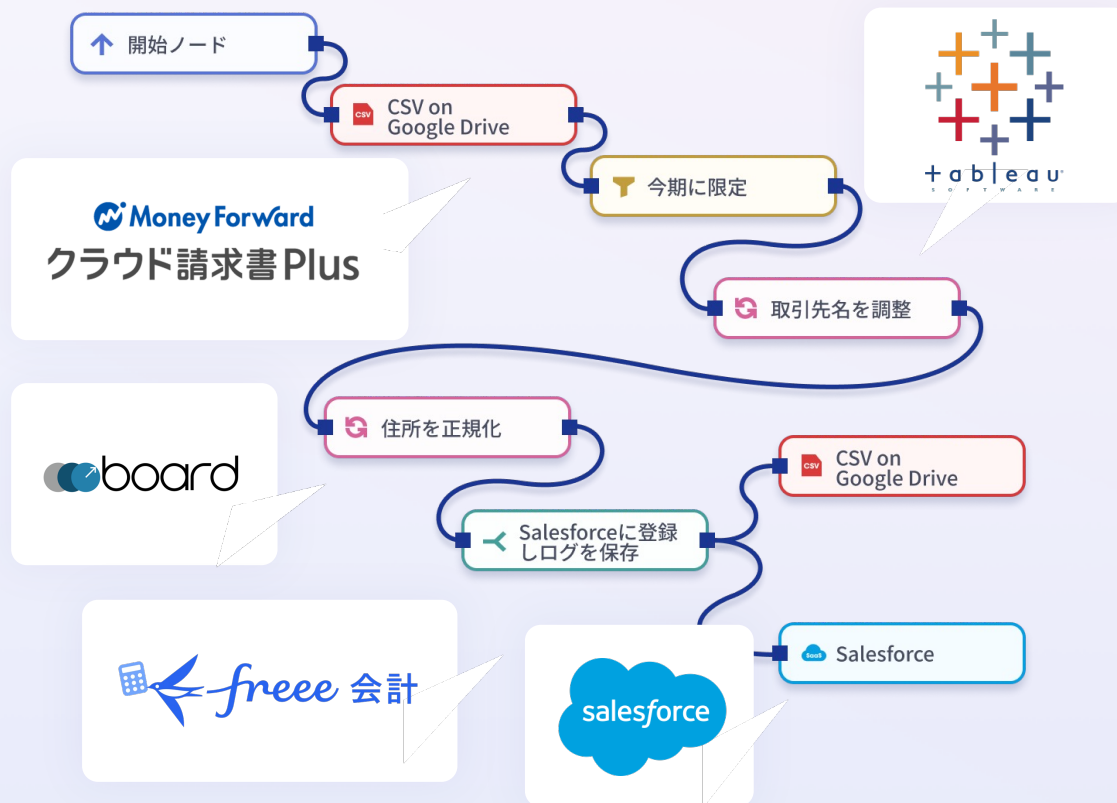


03 Passworkでの解決方法

Passworkなら、

システムを自動で連携して解決することができます

Passworkは、システム間のデータを直感的なドラッグ操作で簡単に連携できるシステムブリッジサービスです。柔軟なデータ変換機能と自動化ワークフローにより、「もっと気軽に、もっと確実に」データ活用基盤を構築します。



● データ連携プラットフォーム

複数システム間のデータフローをドラッグ操作で直感的に構築・実行

● 高度データ変換

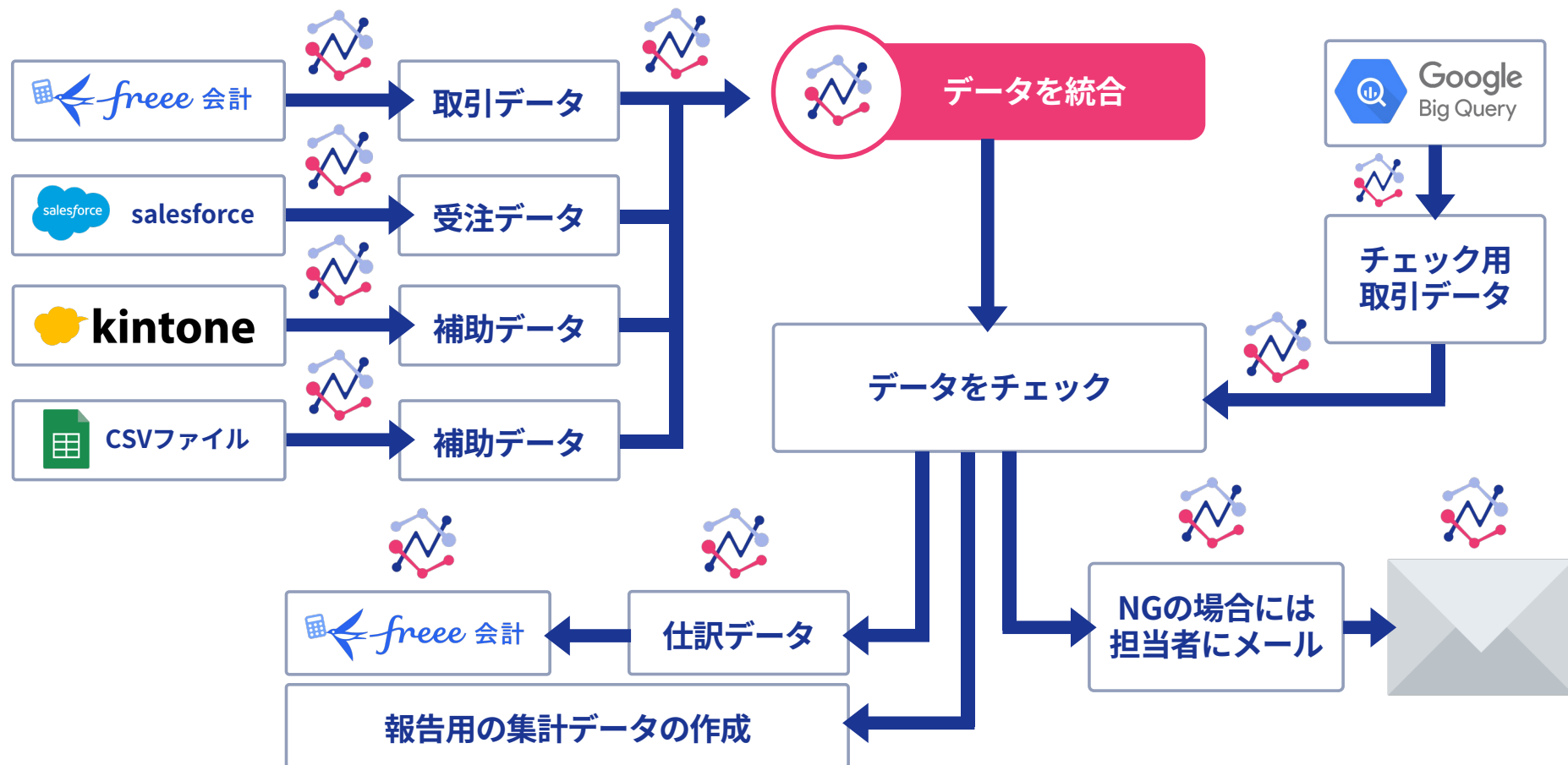
プリセットノードとプログラム拡張による柔軟なデータ加工・フィルタリング

● 連携フロー管理

システム間連携の実行スケジュールと依存関係を一元的に設定・自動化

Passworkであれば以下のような連携が可能です

締め処理の自動化フロー



さらに

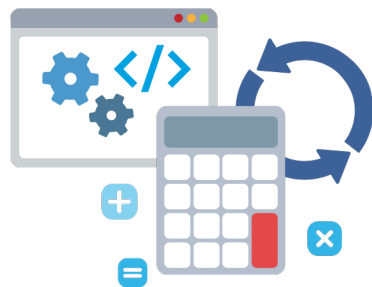
Passworkであれば以下のような連携も可能です

レポート自動化と高度分析

締め処理完了
データの自動分析



部門別・プロジェクト
別収益性の自動計算



BIツールへの
データ連携と
経営ダッシュボードの
自動更新



予実管理の
自動化と異常値検知



04 Passworkの特徴

Passworkの特長 01

ここにわかりやすく特長の総まとめ文章が入ります。

直感的な操作性



- ドラッグ&ドロップでコネクタ同士を簡単に結合
- 視覚的なワークフローデザインで複雑な連携も明確に

柔軟なデータ変換



- プリセットノードで一般的な変換を即実行
- プログラムノードによる高度なカスタマイズも可能
- フィルタリング、結合、計算など多彩な処理オプション

Passworkの特長 02

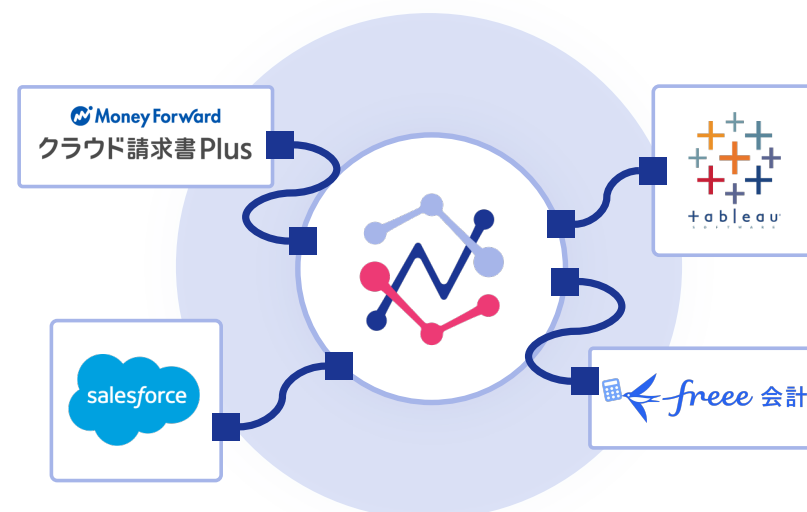
ここにわかりやすく特長の総まとめ文章が入ります。

クラウドネイティブ利点



- インフラ構築不要でスピーディに開始
- 自動アップデートで常に最新機能を利用可能
- スケーラブルな処理能力でデータ量増加にも対応

豊富な接続先



- 約20種類の主要SaaSやRDBMSコネクタを標準装備
- 既存システム資産を最大限に活用可能

Passworkが選ばれる理由

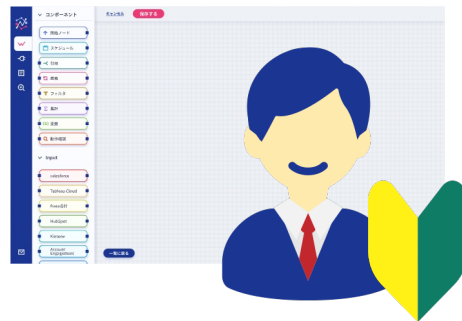
01 直感的な操作性と高い柔軟性

Passworkは、システム間のデータ連携を効率的に実現するためのETLツールとして、以下の特長から多くの企業に選ばれています。

ドラッグ&ドロップの
視覚的インターフェース
でフロー設計



専門的なITスキルが
なくても操作可能



必要に応じた高度な
カスタマイズにも対応



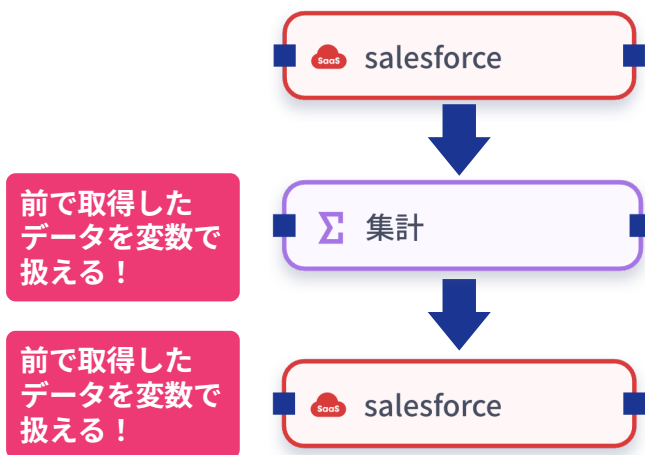
Passworkが選ばれる理由

02 強力な連携機能

Passworkは、システム間のデータ連携を効率的に実現するためのETLツールとして、以下の特長から多くの企業に選ばれています。

変数リレー形式

前工程の処理結果を次工程で活用できる連続的なデータ処理



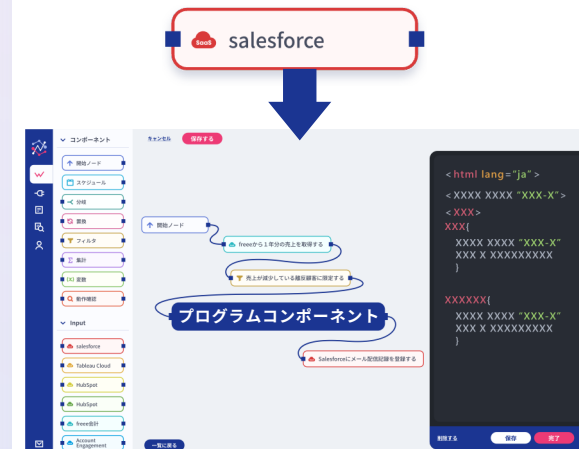
集計コンポーネント

複雑な集計処理も簡単に設定可能



プログラムコンポーネント

高度な要件にも対応するカスタムロジックの実装



標準コンポーネントで対応していない加工も、プログラムを記載して加工可能！

お気軽にお問い合わせください

ご不明点等ございましたら、以下の各担当までお気軽にご連絡ください。

セールスチーム
03-6822-4709
pre-sales@prazto.com